

2021年3月期 決算説明会

決算総括および中期経営計画

代表取締役会長兼社長 CEO 家次 恒
2021年5月13日

Index

1. 2021年3月期 決算総括
2. 前中期経営計画（2019年5月公表）の振り返り
3. 中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）
4. 2022年3月期 業績予想
(補足資料)

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

本資料のうち、売上予想などに記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績などが予想数値と大きく異なる可能性があります。

1.

2021年3月期 決算総括

売上高は増収（対前年同期比）

- 試薬売上はCOVID-19影響により減収するも、主にEMEAや中国、日本において**機器売上が増収**

営業利益は減益（対前年同期比）

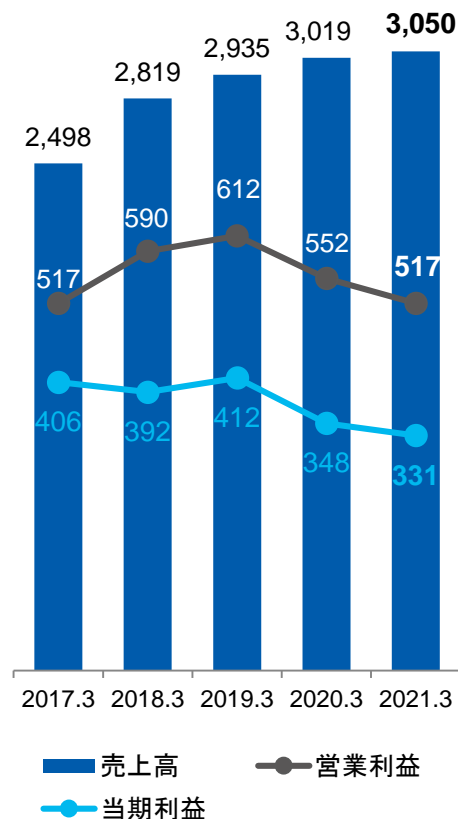
- ヘマトロジー分野の試薬売上減少などにより、**粗利が減少**
- COVID-19による行動規制で販売・マーケティング活動が制限され、**販売管理費は減少**
一方、オンラインを活用した活動を積極的に展開することにより、質と量を確保
- 研究開発への投資は従来水準を維持

コロナ禍においても、重点課題は計画通り進捗

- ヘマトロジー分野や血液凝固分野およびメディカルロボット（MR）事業の新製品を発売
- アライアンス契約更新による直接販売・サービス地域の拡大など、今後の成長に寄与する取り組みを加速

決算総括（対前年）

(億円)



	2021年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	3,050.7	100%	3,019.8	100%	101.0%
売上原価	1,507.7	49.4%	1,421.7	47.1%	106.0%
販売費及び一般管理費	808.3	26.5%	835.4	27.7%	96.8%
研究開発費	225.1	7.4%	217.6	7.2%	103.5%
その他の営業損益	8.4	0.3%	7.8	0.3%	108.0%
営業利益	517.9	17.0%	552.8	18.3%	93.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	331.4	10.9%	348.8	11.6%	95.0%

- **売上高** COVID-19影響により試薬売上が減少するも、EMEAや中国、日本の機器売上が伸長し、増収を達成
- **営業利益** 販管費は前年同期を下回るも、試薬売上減少による粗利減少などにより、減益

- **為替の影響** 売上高 △7.6億円 営業利益 +0.4億円
- **前年同期為替レート適用の場合** 売上高 101.3% 営業利益 93.6%

- **当期利益** 為替差損は減少するも、営業利益の減少により、減益
- **為替差損益** △2.3億円（前年同期 △30.1億円）

	2021年3月期	前年同期
1USD	106.1円	108.7円
1EUR	123.7円	120.8円
1CNY	15.7円	15.6円

決算総括（対計画）：営業利益・当期利益が計画達成



2021年3月期

(億円)

	実績	構成比	計画	構成比	達成率
売上高	3,050.7	100%	3,100.0	100%	98.4%
売上原価	1,507.7	49.4%	1,520.0	49.2%	98.9%
販売費及び 一般管理費	808.3	26.5%	865.0	27.9%	93.5%
研究開発費	225.1	7.4%	231.0	7.5%	97.5%
その他の営業損益	8.4	0.3%	6.0	0.2%	141.2%
営業利益	517.9	17.0%	485.0	15.6%	106.8%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	331.4	10.9%	308.0	9.9%	107.6%

- **売上高** COVID-19による影響が想定よりも長期化した米州やAPで計画を下回り、未達
- **営業利益** 売上は未達も、COVID-19による行動規制等により販売管理費が計画を下回ったことや、円安の影響もあり、達成
 - **為替の影響** 売上高 + 38.8億円 営業利益 + 20.1 億円
- **当期利益** 営業利益が計画を超過したことや、為替差損の減少もあり、達成
 - **為替差損益** + 4.7億円

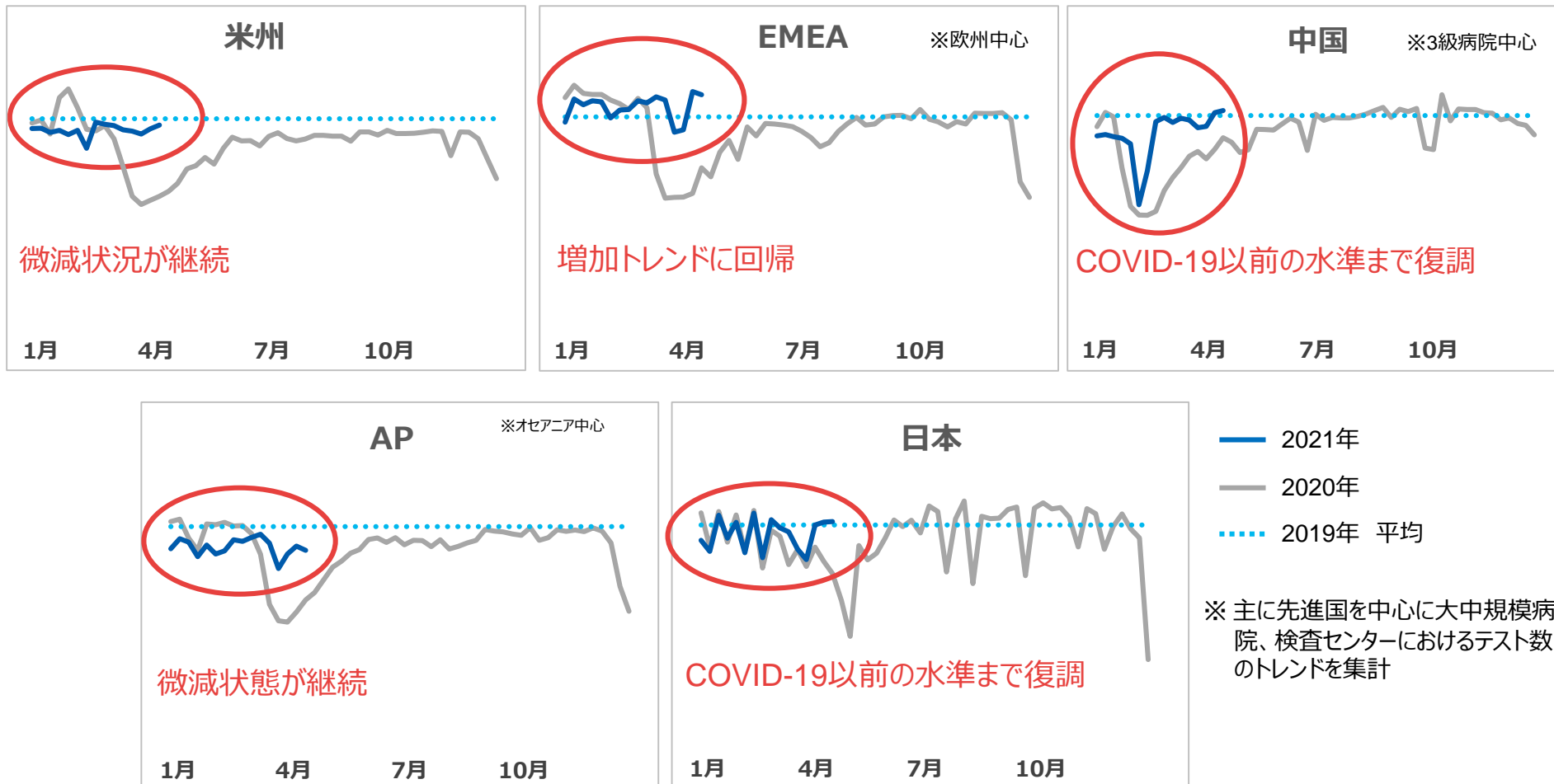
2021年3月期

想定為替レート

1USD	106.1円	106.5円
1EUR	123.7円	121.6円
1CNY	15.7円	15.3円

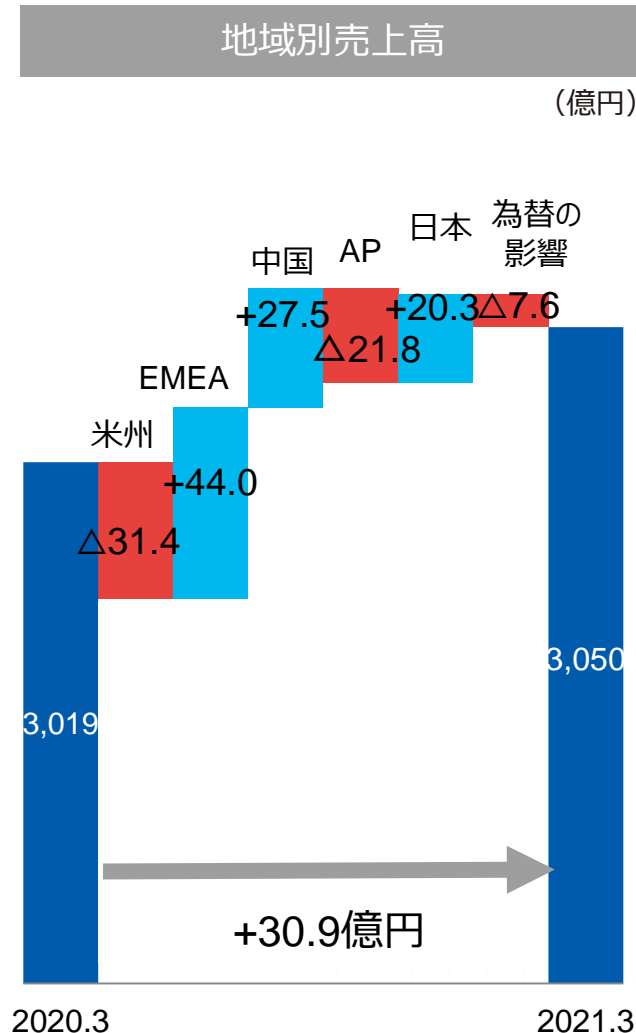
ヘマトロジーテスト数の推計

米州、APで減少状態が継続するも、
EMEA・中国・日本はCOVID-19感染拡大前まで回復



売上高の増減要因（地域別）

COVID-19影響が長期化している米州やAPで減収するも、EMEA、中国、日本が伸長し、増収



(億円)

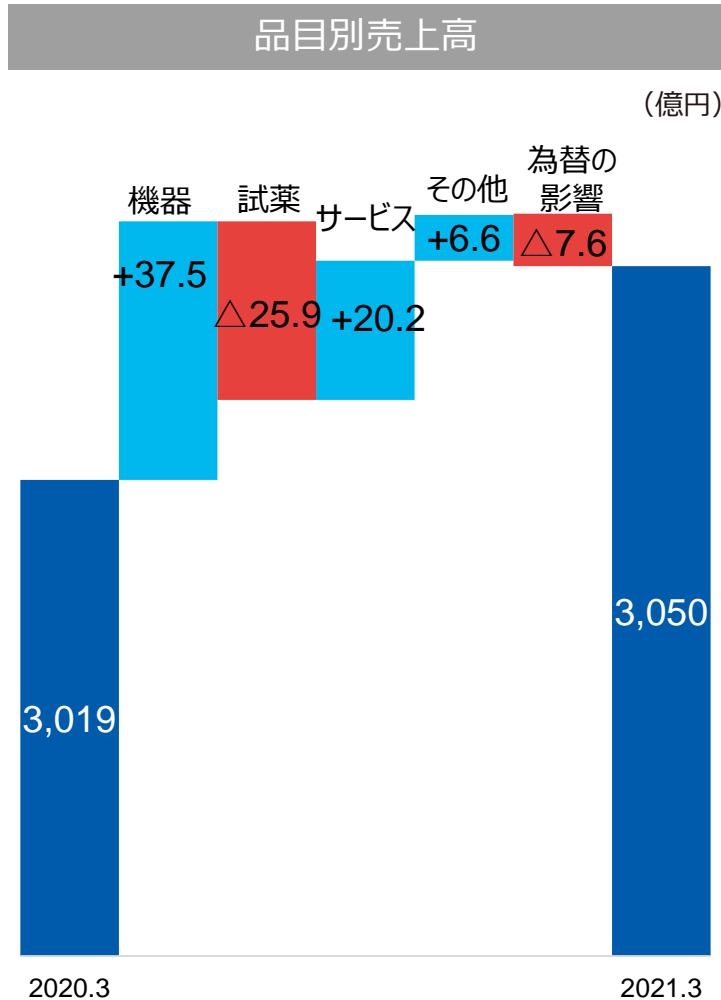
	2021年3月期		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	3,050.7	100.0%	101.0%	101.3%*
米州	658.9	21.6%	92.8%	95.1%
EMEA	821.4	26.9%	106.3%	103.7%
中国	838.3	27.5%	104.7%	103.6%
AP	244.5	8.0%	90.8%	91.9%*
日本	487.5	16.0%	104.3%	-

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

売上高の増減要因（品目別）

機器、サービス売上が伸長するも、COVID-19影響により試薬売上が減収

(億円)



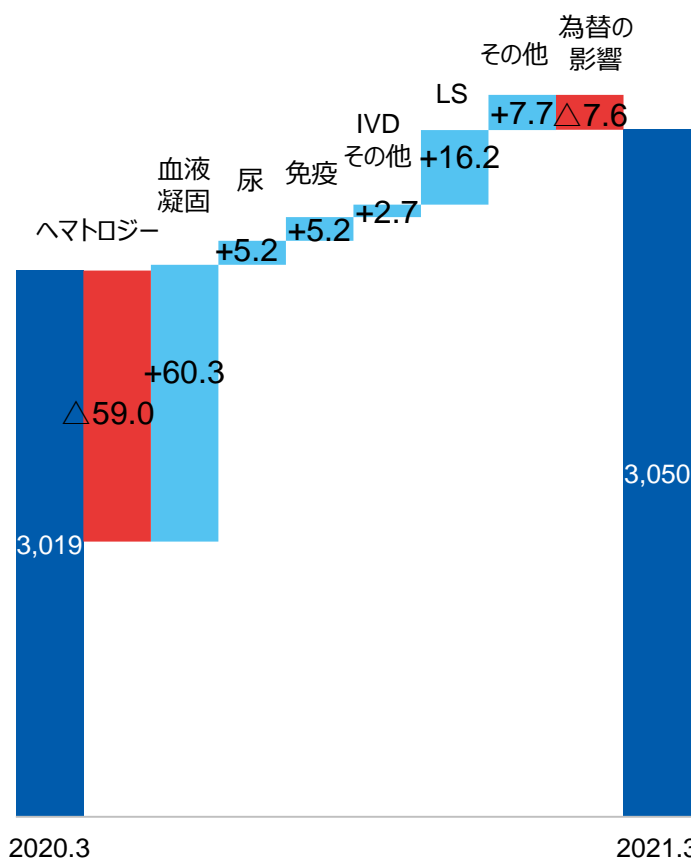
	2021年3月期		前年同期		前年同期比	前年同期比 (前年レト)
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	3,050.7	100.0%	3,019.8	100.0%	101.0%	101.3%
機器	846.7	27.8%	812.0	26.9%	104.3%	104.6%
試薬	1,703.0	55.8%	1,731.7	57.3%	98.3%	98.5%
サービス	393.7	12.9%	375.7	12.4%	104.8%	105.4%
その他	107.1	3.5%	100.1	3.3%	107.0%	106.7%

売上高の増減要因（事業別）

COVID-19影響により減収したヘマトロジーを除き、全分野で増収

事業別売上高

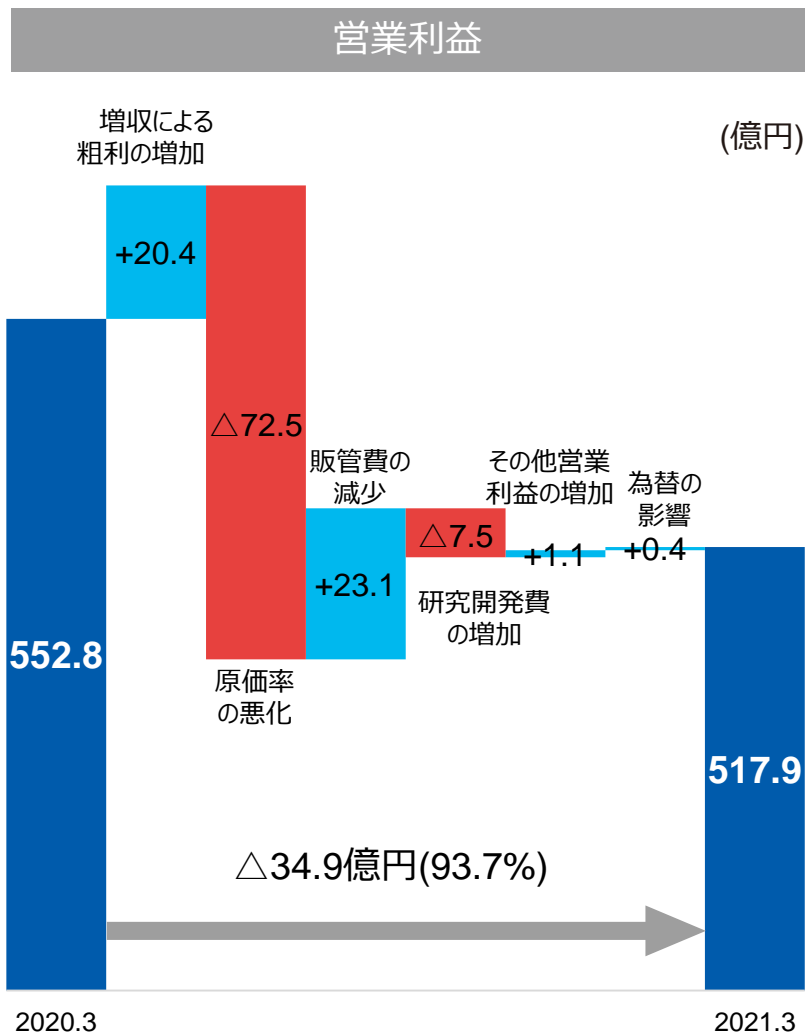
(億円)



	2021年3月期		前年同期		前年 同期比	前年 同期比 (前年レト)
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	3,050.7	100.0%	3,019.8	100.0%	101.0%	101.3%
ヘマトロジー	1,800.5	59.0%	1,872.6	62.0%	96.2%	96.8%
血液凝固	543.1	17.8%	482.5	16.0%	112.6%	112.5%
尿	218.6	7.2%	212.7	7.0%	102.8%	102.5%
免疫	154.8	5.1%	148.2	4.9%	104.4%	103.5%
その他IVD*	195.5	6.4%	190.7	6.4%	102.5%	-
LS	130.2	4.3%	112.8	3.7%	115.4%	114.4%
その他	7.7	0.3%	-	-	-	-

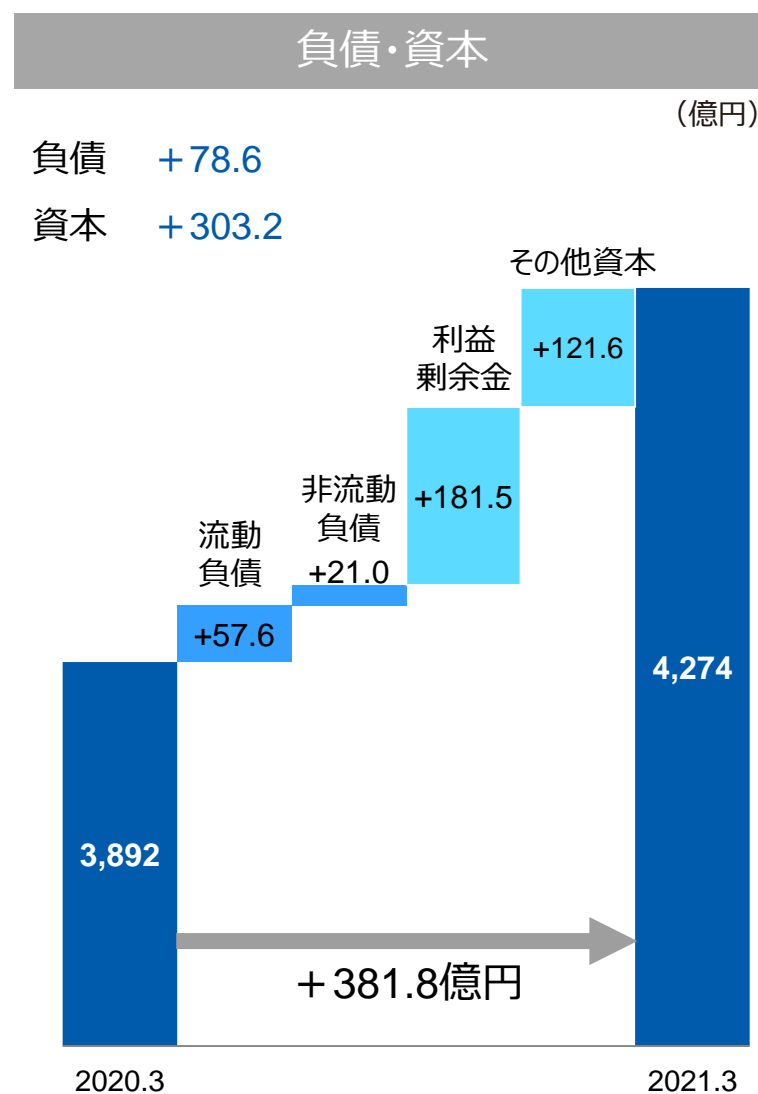
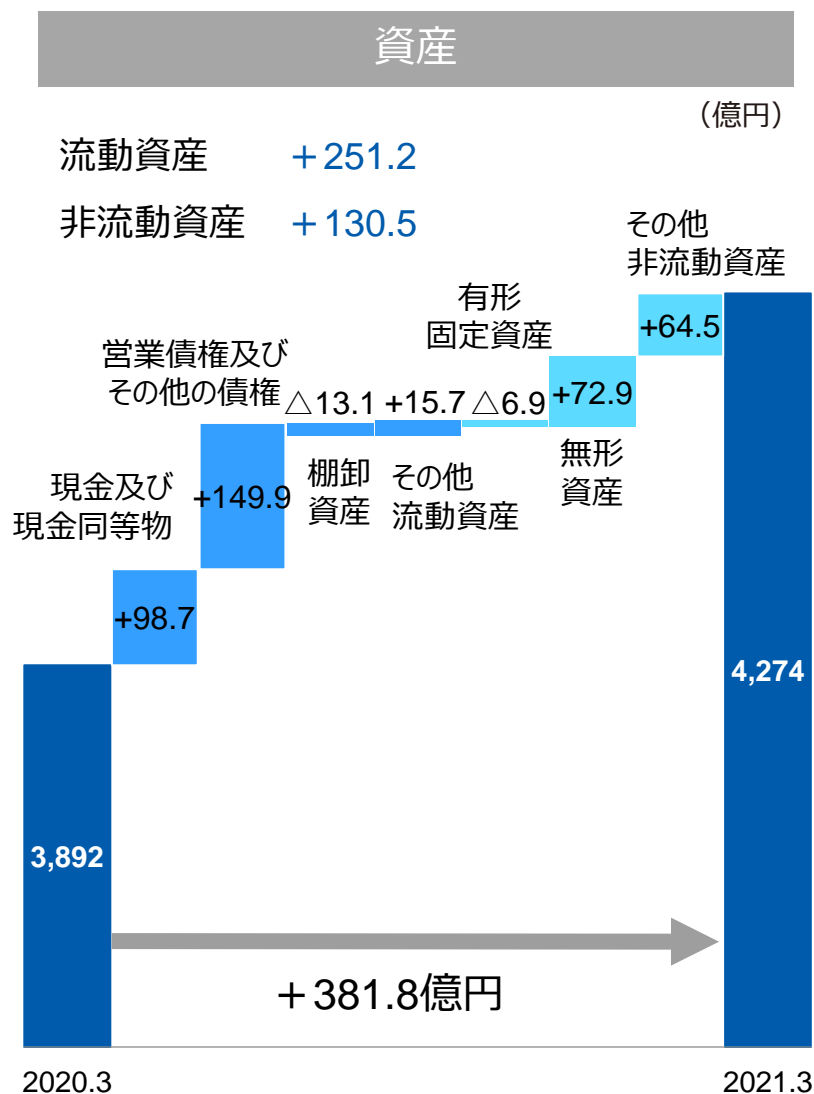
*生化学、FCM、臨床検査情報システムなど

営業利益の増減要因

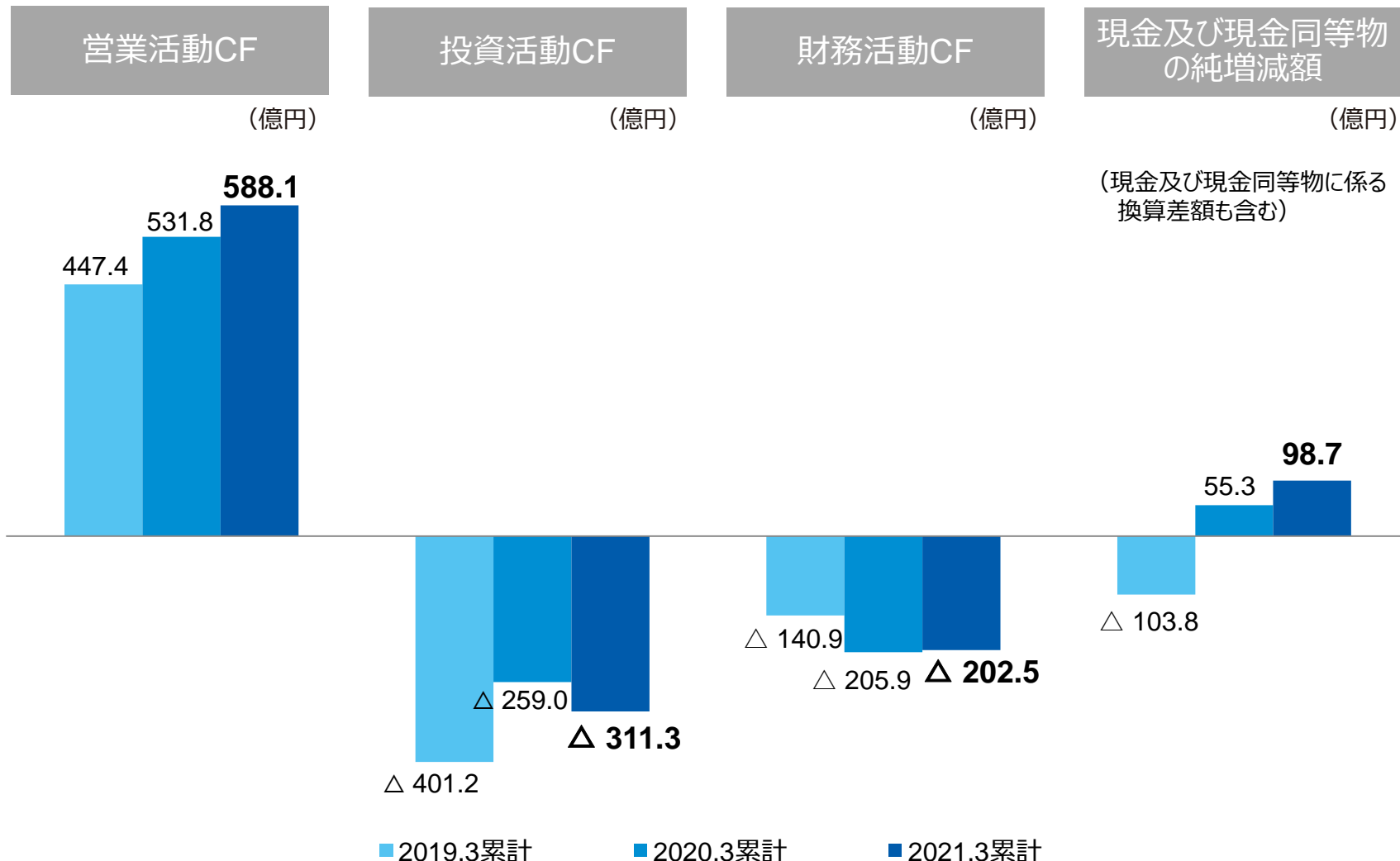


- 増収による粗利の増加： 20.4億円
- 原価： 72.5億円増加（原価率2.3pt悪化）
 - ・ プロダクトミックスの変化（試薬売上構成比低下）により 46億円増加(1.5pt悪化)
 - ・ 原価率の高い製品の売上構成比増加により 39億円増加(1.3pt悪化)
 - ・ 中国におけるサービスコストの減少により 15億円減少(0.6pt改善)
- 販売管理費： 23.1億円減少
 - ・ COVID-19影響に伴う行動規制により、各地域で販売、マーケティング活動が制限され、減少
- 研究開発費： 7.5億円増加
 - ・ IVD新製品やCOVID-19関連検査への投資を継続したことなどにより、増加
- 為替の影響： 0.4億円のプラス影響

連結財政状態計算書の増減要因



キャッシュフローの推移



IVD事業

- ヘマトロジー分野の新製品「多項目自動血球分析装置 XRシリーズ」、「多項目自動血球計数装置 XQシリーズ」を発売 (日本)
- 血液凝固検査分野の新製品「全自動血液凝固測定装置 CN-6500/CN-3500」を発売 (日本)
- 「Flow Cytometer XF-1600」(研究用) を発売 (北米)
- Rocheとのヘマトロジー分野におけるグローバルアライアンス契約を更新
- Siemens Healthineersとの血液凝固分野におけるグローバルアライアンス契約を更新



ライフサイエンス事業

- 高感度デジタルPCR法を用いたリキッドバイオプシーによる大腸がんRAS遺伝子変異検査が保険適用 (日本)
- OSNA™法による乳がんリンパ節転移検査システムの発売 (中国)

メディカルロボット事業

- 「手術用ロボット手術ユニット hinotori™ サージカルロボットシステム」の発売 (日本)、トレーニングセンターを神戸・名古屋に開所



その他

- TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言への賛同を表明
- 「Global 100」(世界で最も持続可能な100社) に4回目の選出
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に5年連続選定



全自動免疫測定装置HISCLを用いたアッセイ系の構築

抗原検査

- 2020年11月に製造販売承認および保険適用（鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液での測定）

抗体検査

- 2020年6月より研究用抗体受託測定サービス開始および、研究用抗体検出試薬を発売
- 疫学調査など研究用途で提供

重症化予測／治療モニタリング検査

- 2020年7月よりCOVID-19に関連が高いとされる6項目の研究用受託測定サービスを提供
- 2021年2月にIFN-λ3試薬の保険適用

※ 当社免疫測定装置では**17分/検体**
（最大200検体/時間）、**高感度測定**が可能



全自動免疫測定装置
HISCL-5000

PCR検査

- 2021年4月に新型コロナウイルス検出試薬（RT-PCR法）の製造販売承認および保険適用（鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液、唾液での測定）

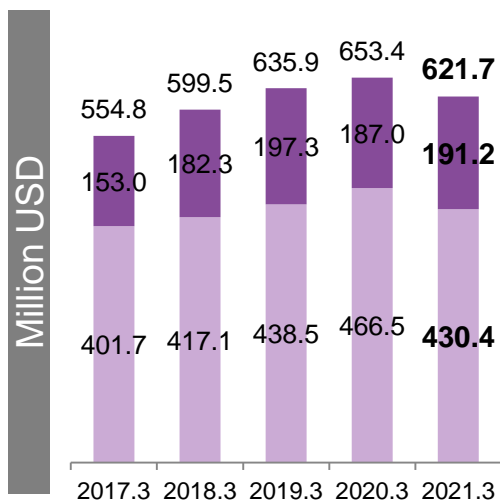
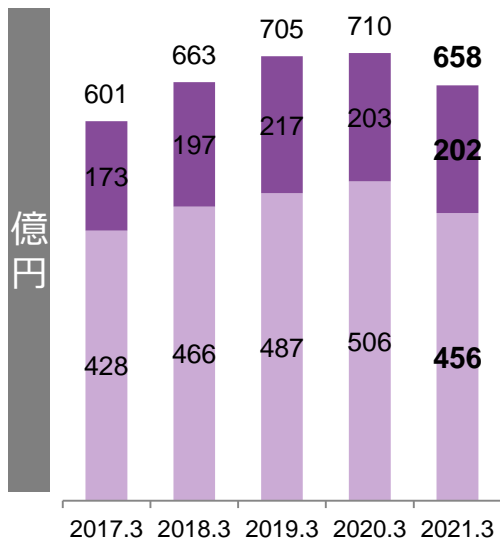
自動PCR検査ロボットシステム

- 短時間で大量の検体を処理する大規模施設や空港などでの利用を目指し、川崎重工業、メディカロイドと共同開発
- 2021年2月より無人化・自動化を実現する、ロボットによる大量検査システムを確立し市場導入開始



- 検体のウイルス不活化試薬および、PCR検査機器・試薬はシスメックスが提供
- 2021年4月より京都大学医学部附属病院、川崎重工業と共同で、社会実装に向けた有用性評価を開始

売上高



■ 3Q累計(4-12月) ■ 4Q四半期(1-3月)

(億円)

	2021年3月期	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	658.9	710.3	92.8%	95.1%
機器	185.0	221.5	83.5%	85.6%
試薬	295.7	315.6	93.7%	96.1%
サービス・その他	178.1	173.0	102.9%	105.6%

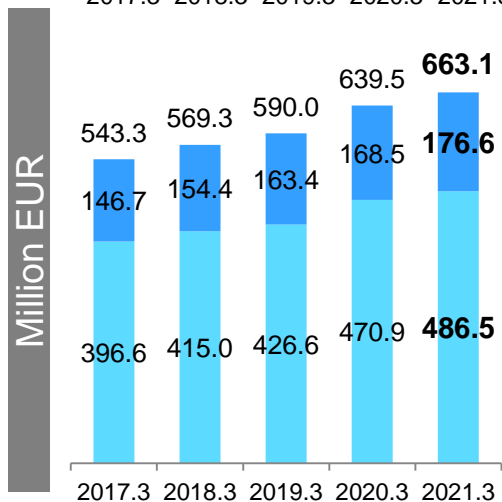
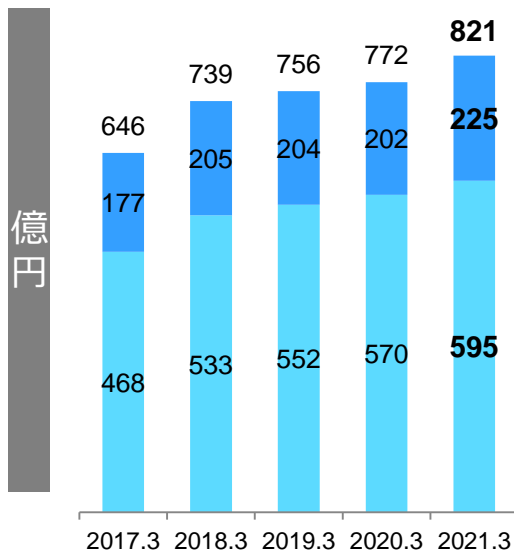
主に北米において、COVID-19影響によりヘマトロジー分野の機器売上が減収したことなどにより、減収

- 機器：尿分野は北米における新製品の発売により増収するも、COVID-19影響によりヘマトロジー分野で減収
- 試薬：検査需要は回復基調ではあるが、北米、中南米共にヘマトロジー分野の売上が減少し、減収

トピックス

- 北米において、ワクチン接種を完了した当社セールスによる販促活動を再開

売上高



■ 3Q累計(4-12月) ■ 4Q四半期(1-3月)

(億円)

2021年3月期

前年同期

前年同期比

円ベース

現地通貨ベース

売上高

821.4

772.5

106.3%

103.7%

機器

228.0

210.3

108.4%

106.1%

試薬

459.3

441.0

104.1%

101.4%

サービス・その他

134.0

121.1

110.7%

107.9%

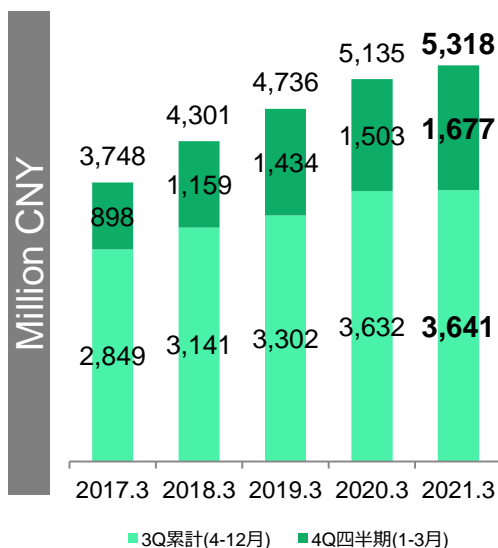
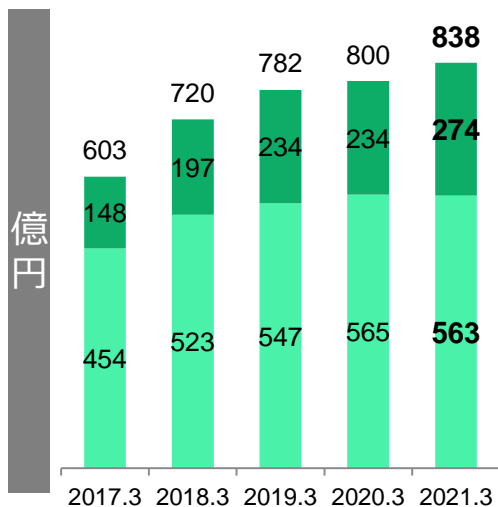
COVID-19影響はあるも、主にヘマトロジー・血液凝固分野の機器売上が伸長し、増収

- 機器：大手検査センター向け案件や、ロシアのCOVID-19緊急入札獲得などもあり、増収
- 試薬：COVID-19影響が回復傾向にあることに加え、血液凝固分野の伸長もあり、増収

トピックス

- シスメックス ポルトガルを設立し、イベリア地域の直接販売を開始（2月）
- ドイツにおける働きがいのある会社Top100に選出

売上高



(億円)

2021年3月期

前年同期

前年同期比

円ベース

現地通貨ベース

売上高

838.3

800.4

104.7%

103.6%

機器

264.5

214.5

123.3%

122.1%

試薬

493.2

503.6

97.9%

96.8%

サービス・その他

80.4

82.2

97.8%

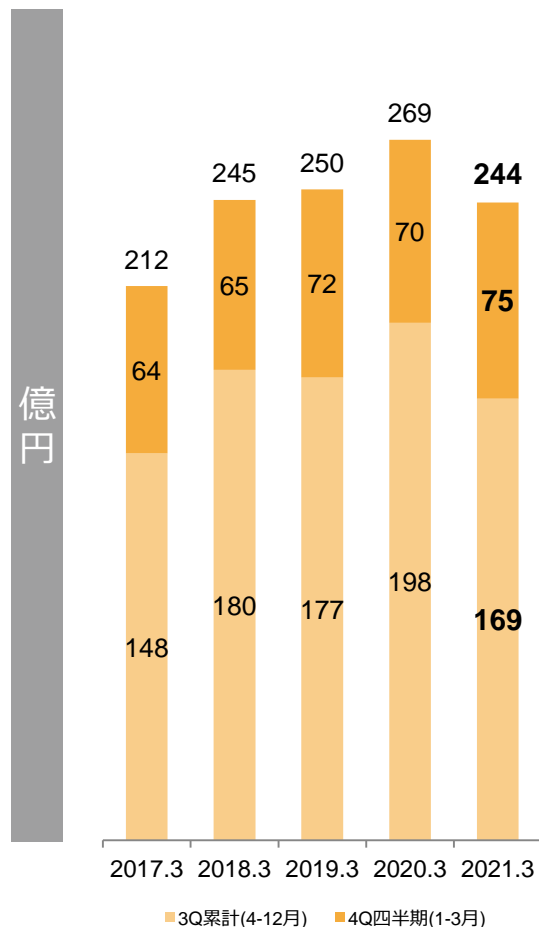
96.8%

COVID-19影響により試薬売上が減収するも、全分野において機器売上が伸長し、増収

- 機器：血液凝固分野の新製品が好調に推移したことに加え、ヘマトロジー分野におけるCRP（炎症マーカー）検査需要の増加もあり、大幅増収
- 試薬：下半期にはCOVID-19影響から回復するも、上半期の需要減少が影響し、減収

トピックス

- ヘマトロジー分野における濃縮試薬の現地生産を4Qより開始



(億円)	2021年3月期	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	244.5	269.1	90.8% (91.9%)
機器	64.8	62.6	103.6%
試薬	159.4	181.8	87.7%
サービス・その他	20.2	24.6	82.1%

()は為替の影響を除いた場合

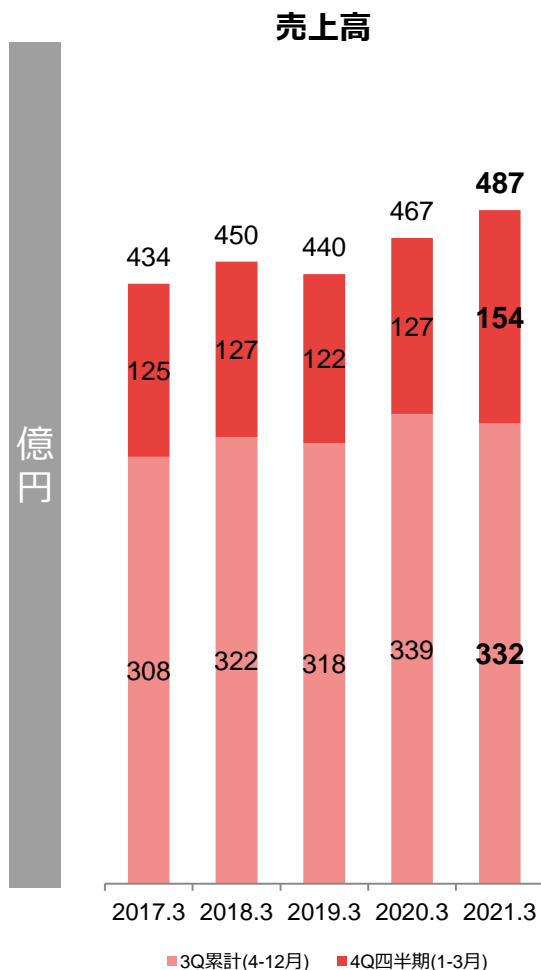
南アジアでの入札案件獲得などにより機器売上は増収するも、COVID-19影響により試薬売上が減少し、減収

- 機器：インドにおけるヘマトロジー分野入札案件の獲得や、オーストラリアにおける大手検査センター向け血液凝固分野新製品の発売もあり、増収
- 試薬：血液凝固分野は増収するも、COVID-19影響や前年度のデング熱流行の影響などにより、主にヘマトロジー・尿分野で減収

トピックス

- インドなど、COVID-19の感染者数が再度増加している国について、今後の動向を注視

(億円)	2021年3月期	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	487.5	467.2	104.3%
機器	104.2	102.9	101.3%
試薬	295.3	289.4	102.0%
サービス・その他	87.9	74.7	117.6%



ヘマトロジー分野や手術支援ロボットの機器売上が伸長したことに加え、COVID-19関連検査により試薬売上也伸長し、増収

- 機器：大手検査センター向けヘマトロジー製品や、手術支援ロボットの発売もあり、微増
- 試薬：尿・免疫分野において減収するも、COVID-19関連検査により血液凝固分野やライフサイエンス分野で伸長し、増収

トピックス

- ヘマトロジー新製品（XRシリーズ、XQシリーズ）を発売
- 新型コロナウイルス検出試薬（RT-PCR法）の製造販売承認取得および、保険適用

- ・2020年3月期と同額を配当し、配当性向は45.4%

	中間	期末	年間	配当性向
2020年3月期	36 円	36円	72円	43.1 %
2021年3月期 (案)	36円	36円※	72円	45.4 %

※第54回定時株主総会に付議する予定

2.

前中期経営計画（2019年5月公表） の振り返り

増収を継続するも、COVID-19感染拡大の影響などにより、
成長性・収益性が停滞

（億円）

	2020.3月期実績	2021.3月期実績	2022.3月期目標
売上高	3,019.8	3,050.7	3,800.0
営業利益 (営業利益率)	552.8 (18.3)	517.9 (17.0)	780.0 (20.5)
ROE (%)	12.9	11.3	18.0
フリーCF	272.7	276.8	400
営業CF	531.8	588.1	750

今後の成長材料および経営品質向上に向けた取り組みが進展

成果

事業

- **ヘマトロジー分野の再強化**（新製品発売、インド・イベリア半島の直販化など）
- **北米において尿分野のアライアンス締結、新製品発売**
- **血液凝固分野におけるアライアンス更新**（一部国の直販化、CNシリーズのグローバル展開など）
- **ライフサイエンス事業の拡充**（NCCオンコパネル国内保険適用、OSNA中国発売）
- **COVID-19関連検査の製品・サービスの提供**（日本）
- **手術支援ロボット「hinotori」の発売**（日本）

経営

- **グローバルHRポリシーに基づいた職務型人事制度の導入**
- **働き方改革の推進に向けたスマートワークの導入**
- **デジタル化プロジェクトの推進**
- **経営品質の向上・グループガバナンスの強化に向けた内部統制室の新設**
- **TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明**

継続課題

事業

- **新製品開発力・スピードの向上**
- **薬事認可取得の早期化**
- **生産性の向上**

経営

- **ニューノーマルへの対応**
- **人材マネジメントの変革**
- **持続可能な社会への貢献**

3.

中期経営計画 (2022年3月期～2024年3月期)

経営環境

- 不安定な政治、不透明な経済情勢
 - 感染症対策と経済再建の両立
 - 地政学的リスクの高まり
- 社会の価値観が変化し、働き方改革が進展
 - リモートワークの浸透、職場環境の整備、労働生産性の向上など
- 環境負荷低減への対応が急務
- デジタル・トランスフォーメーションの加速

ヘルスケア市場

- 当面は、COVID-19影響が継続
- 医療インフラ拡充と医療費抑制とのバランス
- オンライン診療の普及など、医療の在り方が変化
- AIやロボット技術など、先進技術の活用が進展
- COVID-19以前に顕在化していた課題は継続
 - 加齢に伴う疾患、三大感染症、AMR対策（薬剤耐性）、開発途上国における医療アクセス向上など

COVID-19による社会変容など、全世界で大きな変化が進む中でヘルスケア市場の重要性は、今後も高まっていくと想定

前中計の成果および継続課題を解決し、次のステージを目指す

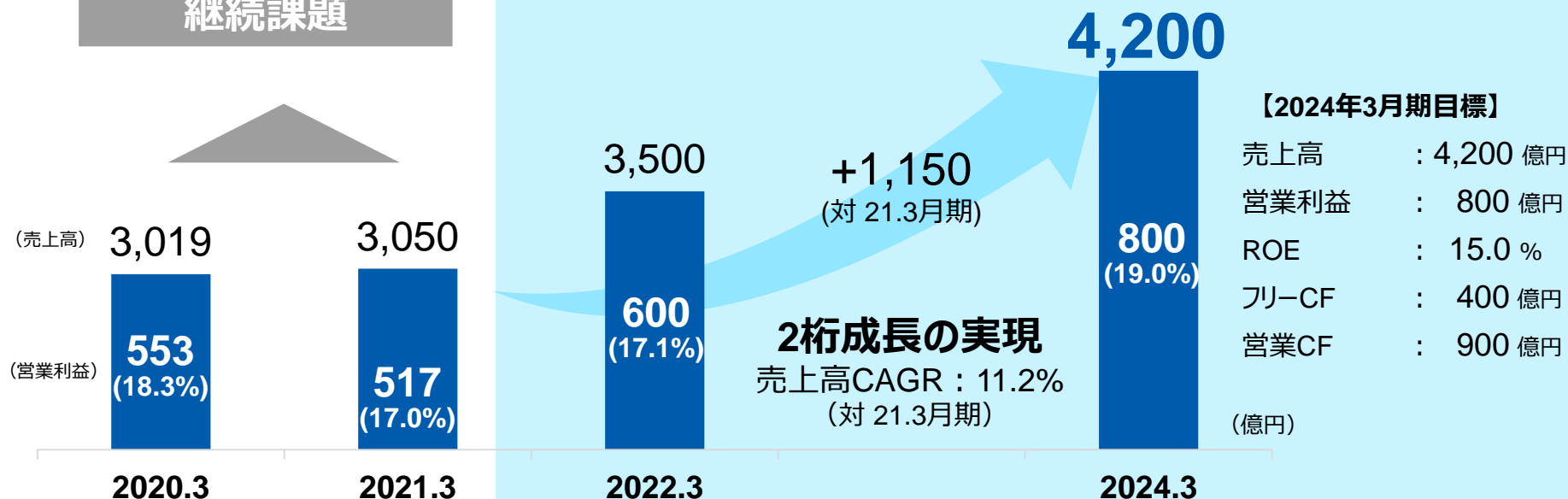
外部環境変化

前中計からの成果

継続課題

重点アクション

- ① 成長性・収益性の向上を目指した新製品の投入加速、新興国戦略の推進
- ② 重点分野（血液凝固、免疫、ライフサイエンス）への積極的な投資による高成長の実現
- ③ 非連続な成長実現のための新たな事業の育成（MR事業およびさらなる技術・事業開発）
- ④ グループのデジタル化推進と顧客価値創出に向けたDXの実現
- ⑤ 戦略実行に資する人材ポートフォリオの充実と多様な人材を活かす魅力ある組織風土への転換
- ⑥ サステナビリティ経営の強化・実践に向けたビジョン策定、施策展開



重点アクション①、②

- ① 成長性・収益性の向上を目指した新製品の投入加速、新興国戦略の推進
- ② 重点分野（血液凝固、免疫、ライフサイエンス）への積極的な投資による高成長の実現

主な成長ドライバー

新製品による各分野の事業拡大

- ・ ヘマトロジー：XRシリーズ（日本・EMEA→AP・中国・米州）
XQシリーズ（新興国向けポートフォリオ強化）
FCMとの連携によるポートフォリオ強化
XW-100の再導入（米国）
- ・ 尿：北米における拡販（尿定性含む）
- ・ 血液凝固：CNシリーズ（直販・アライアンス連携強化）
- ・ 免疫：試薬項目拡充（日本・中国・AP）
- ・ LS：OSNAの中国展開、がんゲノム拡大
- ・ COVID-19 関連検査（主に日本）

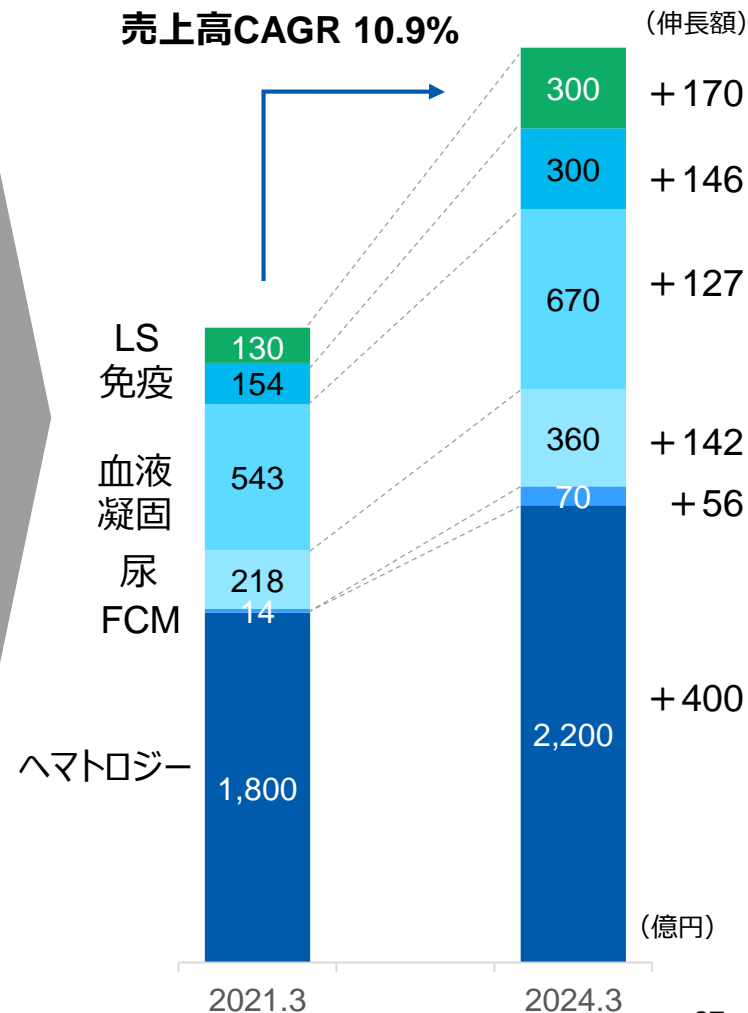
直接販売地域の拡大

- ・ ヘマトロジー：スペイン、ポルトガル等
- ・ 血液凝固：中東・ロシア・トルコ

COVID-19影響

- ・ 2021.3月期の試薬売上減（推定約120億円※）からの回復

※COVID-19パンデミックによる検査需要低下がもたらした当社試薬売上減少額推定



重点アクション③、④

③ 非連続な成長実現のための新たな事業の育成

MR事業

- 手術支援ロボット「hinotori」による日本での事業基盤確立（24.3月期：100億円）
- グローバル展開への着実な準備完了

育成分野*

※中計期間に技術・事業開発に取り組む分野

- Astrego：尿路感染症における薬剤感受性検査の事業化開発
- リキッドバイオプシー：アルツハイマー検査等の事業化開発
- デジタルヘルス、医療データビジネスの検討

④ グループのデジタル化推進と顧客価値創造に向けたDXの実現

社内

- 業務プロセスおよびデータのグローバル標準化
- バリューチェーンのデジタル化によるシームレスな開発、生産、供給、サポートの実現
- マニュアル業務の削減による生産性、スピードおよび品質の向上

顧客

- Caresphereポートフォリオの拡充とグローバル展開加速
- ユーザーに対するサービスやトレーニング等のデジタル化推進

重点アクション⑤、⑥

⑤ 戦略実行に資する人材ポートフォリオの充実と 多様な人材を活かす魅力ある組織風土への転換

人材

- 職務型人事制度による人材マネジメントの変革
- 人材の可視化に向けたグローバル人材データベースの構築
- 高度専門人材の獲得による競争優位の獲得

風土

- 働き方の改革およびダイバーシティの推進
- エンゲージメント向上による労働生産性の向上
- 健康経営施策の実行による心身の健康、安心して能力発揮できる職場環境の構築

⑥ サステナビリティ経営の強化・実践に向けたビジョン策定、施策展開

2022.3月期

2023.3月期

2024.3月期

サステナビリティ目標達成へ向けた活動
※医療課題解決、環境配慮、ガバナンス強化 など

サステナビリティ経営の強化に
向けたビジョン策定

新長期経営目標の
策定

新たな長期経営目標に
基づく実行展開

中計期間中の主な投資案件

研究開発

・新製品開発の加速

ダイアグノスティクス事業の強化
(ヘマトロジーポートフォリオ拡充、
免疫試薬項目拡充など)

新事業育成へ向けた開発
(プライマリケア、
リキッドバイオプシーなど)

・新製品のグローバルな薬事登録推進

ヘマトロジー分野新製品 (XR、XQシリーズ)
血液凝固分野新製品 (CNシリーズ)

投資総額：約900億円を予定*
(参考：2019.3～2021.3：約640億円)

※ 顧客向けDX (Caresphere) の研究開発費含む

販売・サービス体制

EMEA

ヘマトロジー分野の直販 (スペイン・ポルトガル)
血液凝固分野の直販 (ロシア、トルコ、中東)

米州

北米尿分野
(販売・サービス力強化)

日本

メディカルロボット事業

中国

直接サービス力強化

AP

インド
(販売・サービス力強化)

人材・職場環境

成長を支える
人材の採用および育成

働きやすい
職場環境の整備

その他

生産機能強化

M&A

グループのデジタル化推進

- ・ グローバル人材管理、設計情報連携、薬事文書管理、旅費精算などのシステム導入完了
- ・ グローバル基幹システムの刷新に向けた業務プロセスの標準化を完了

**「社会のデジタル化実装の加速を受け、当初計画※よりスコープを拡大し、
先進的なデジタルソリューションを、グループ全体のあらゆる業務に応用」**

投資総額：約290億円を予定

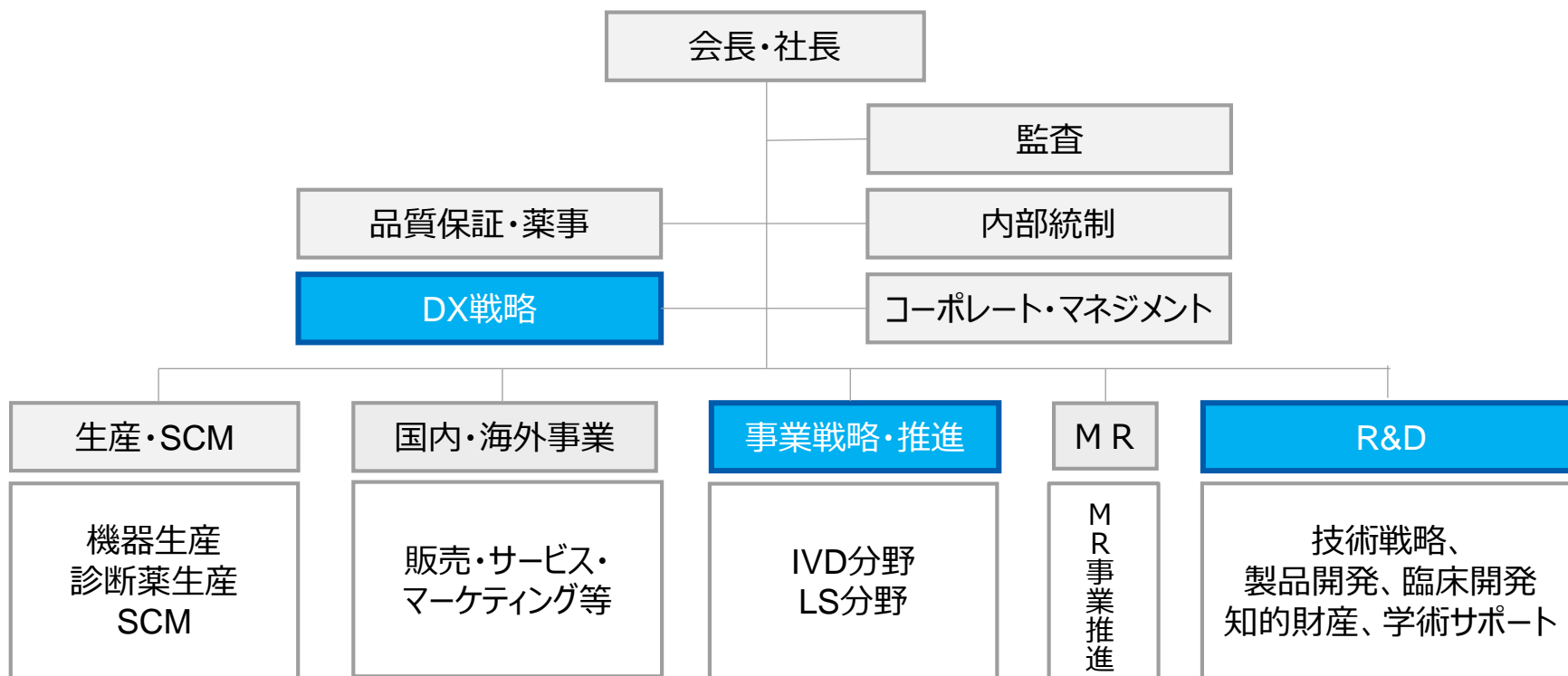
※2019年5月プレスリリース

当社のマテリアリティと主なサステナビリティ目標		主なKPI	2024.3 目標
● 製品・サービスを通じた医療課題解決	・ イノベーションを通じた医療課題解決	ヘマトロジー市場シェア	※2
		がんゲノム医療解析実施件数※1	※2
	・ 医療アクセスの向上	新興国売上高	※2
● 責任ある製品・サービスの提供	・ 品質と信頼の追求	リコール件数	※2
	・ サプライチェーンマネジメントの強化	CSR調査回答率 (国内・海外一次サプライヤー)	90%
		エンゲージメントスコア	75%
● 魅力ある職場の実現	・ 働きやすい職場環境の確保	離職率※1	※2
	・ ダイバーシティ&インクルージョンの推進	女性マネジメント比率	17.0%
	・ 人材の育成	平均教育時間	40.0時間
		年間総労働時間※1	1,950時間
	・ 健康増進と労働安全の推進	労働災害度数率※1	0.58未満
		労働災害強度率※1	0.02未満
● 環境への配慮 (基準年度：2017.3月期)	・ 製品ライフサイクルにおける環境配慮	CO ₂ 排出量の削減率 (機器製品使用時、出荷物流)	20%削減
		水消費量の削減率（機器製品使用時）	10%削減
	・ 事業所活動における環境負荷低減	CO ₂ 排出量の削減率（事業活動）	40%削減
		水消費量の削減率（事業活動）	5%削減
● ガバナンスの強化	・ コンプライアンス	内部通報件数	※2
		倫理違反件数	※2
	・ リスクマネジメント	情報リテラシー教育受講者数※1	※2

※1 対象：国内グループ ※2 目標値は設定せずモニタリング指数として設定

組織体制における主な変更点

- IVD事業およびLS事業の戦略策定・推進機能を統合
- 製品開発の加速化に向けた研究開発機能を統合
- グループ内のデジタル化と顧客価値創出を加速させるDX戦略推進機能を統合



※ ■が変更点

4.

2022年3月期 業績予想

2022年3月期 連結業績予想

売上高 **3,500億円** 営業利益 **600億円** 営業利益率 **17.1%**

親会社の所有者に帰属する当期利益 **400億円** 当期利益率 **11.4%**

投資計画

設備投資 **390億円** 減価償却費 **295億円** 研究開発費 **275億円**
(有形、無形含む)

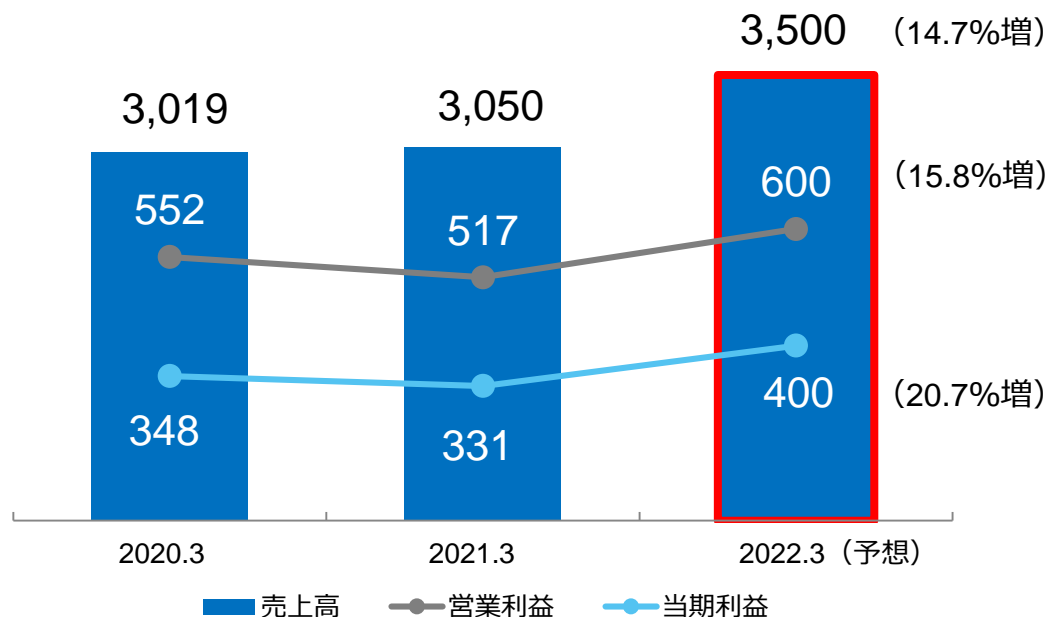
(億円)

● 想定為替レート

	通期想定	前期実績 (21年3月期)
1 USD	106.0円	106.1円
1 EUR	125.0円	123.7円
1 CNY	16.0円	15.7円

● 為替感応度の概算値

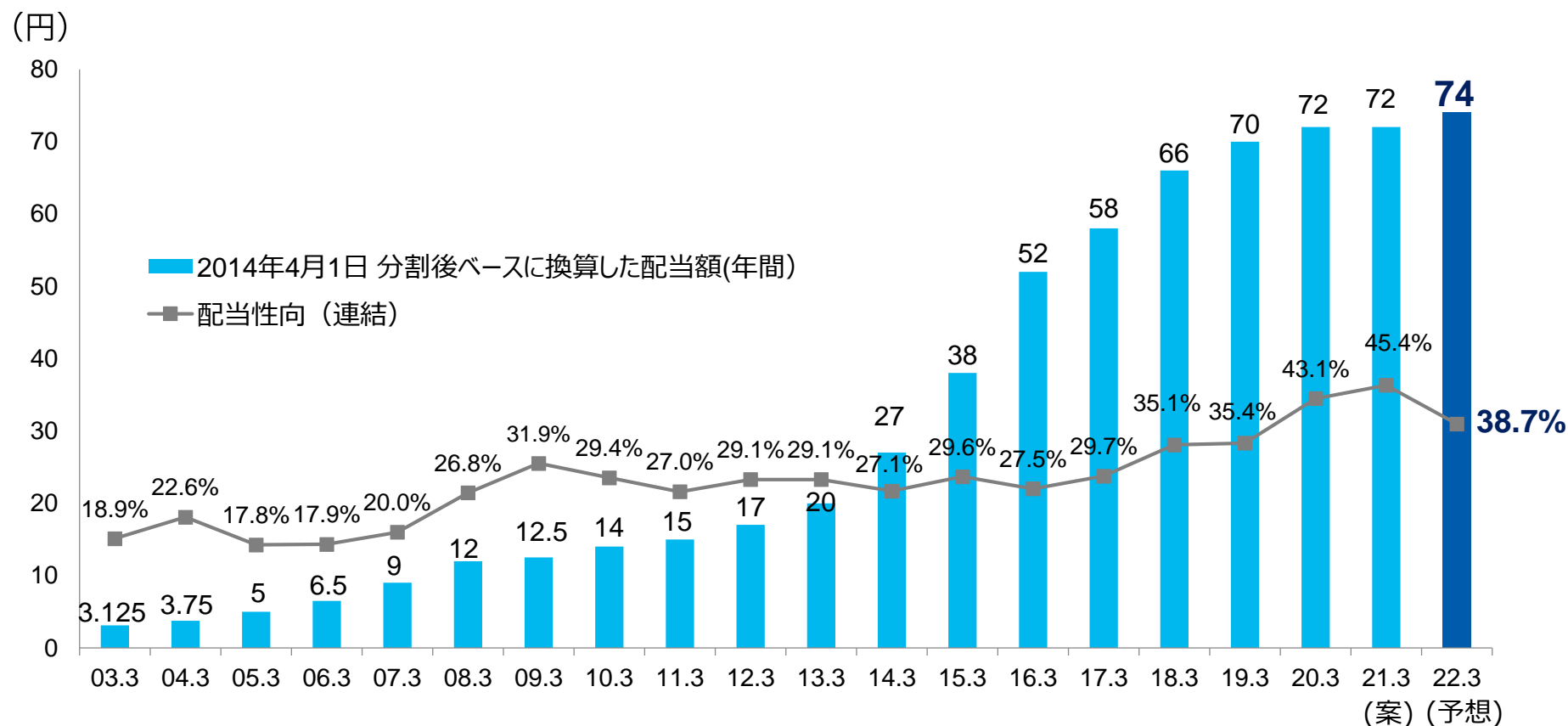
	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	6.8億円	1.8億円
EUR	5.1億円	1.6億円
CNY	58.8億円	45.3億円



配当 (2022年3期予想)

シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。

株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。



注) 2016年3月期からIFRSで記載

※株式分割：2005年11月18日付(1:2) / 2011年4月1日付(1:2) / 2014年4月1日付(1:2)

(補足資料)

- 中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）

連結PL

(億円)

	2022年3月期目標	2024年3月期目標	CAGR ※
売上高	3,500	4,200	11.2%
営業利益	600	800	15.6%
営業利益率	17.1%	19.0%	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	400	570	-

※2021年3月期から2024年3月期の年平均成長率

中期経営計画期間における想定為替レート

アメリカドル (USD)	ユーロ (EUR)	中国元 (CNY)
106.0 円	125.0 円	16.0 円

事業別売上高

(億円)

	2022年3月期目標	2024年3月期目標	CAGR ※
ヘマトロジー	1,970	2,200	6.9%
FCM検査	30	70	68.9%
尿検査	300	360	18.1%
血液凝固検査	580	670	7.2%
免疫検査	200	300	24.7%
生化学検査	30	35	7.7%
ライフサイエンス	180	300	32.1%
その他	160	165	-
ダイアグノスティクス事業	3,450	4,100	10.4%
メディカルロボット事業	50	100	134.5%
合計	3,500	4,200	11.2%

地域別売上高

	2022年3月期目標	2024年3月期目標	CAGR ※
日本	595	765	16.2%
米州	795	955	13.2%
EMEA	880	1,000	6.8%
中国	940	1,120	10.1%
アジア・パシフィック	290	360	13.8%

※2021年3月期から2024年3月期の年平均成長率

(補足資料)

・ 2021年3月期 決算

単四半期業績推移

機器売上構成比の増加により原価率が悪化するも、
売上伸長による粗利の増加により、4Q単営業利益は増益

(億円)

	1Q (4月-6月)			2Q (7月-9月)			3Q (10月-12月)			4Q (1月-3月)		
	構成比	対前年 伸長率		構成比	対前年 伸長率		構成比	対前年 伸長率		構成比	対前年 伸長率	
売上高	605.1	100.0%	△11.7%	715.7	100.0%	△3.9%	797.6	100.0%	6.1%	932.2	100.0%	11.2%
売上原価	298.8	49.4%	△5.6%	349.0	48.8%	3.3%	384.5	48.2%	9.9%	475.2	51.0%	13.9%
販売費及び 一般管理費	189.2	31.3%	△8.6%	191.5	26.8%	△0.9%	201.2	25.2%	△7.3%	226.3	24.3%	3.9%
研究開発費	49.1	8.1%	△1.6%	48.3	6.8%	△11.6%	55.2	6.9%	△3.5%	72.4	7.8%	29.9%
その他の 営業損益	1.7	0.3%	56.9%	3.6	0.5%	△43.7%	2.3	0.3%	—	0.6	0.1%	—
営業利益	69.5	11.5%	△38.3%	130.4	18.2%	△21.0%	159.0	19.9%	26.0%	158.8	17.0%	6.9%
親会社の所有者に 帰属する当期 (四半期)利益	44.8	7.4%	△33.0%	81.6	11.4%	△25.1%	106.3	13.3%	19.5%	98.5	10.6%	17.5%

事業別・品目別売上高

(億円)

事業別	2021年3月期		前年同期		前年同期比	前年同期比 (前期レート)	
	実績	構成比	実績	構成比			
	ヘマトロジー	1,800.5	59.0%	1,872.6	62.0%	96.2%	96.8%
	血液凝固	543.1	17.8%	482.5	16.0%	112.6%	112.5%
	尿	218.6	7.2%	212.7	7.0%	102.8%	102.5%
	免疫	154.8	5.1%	148.2	4.9%	104.4%	103.5%
	生化学	27.9	0.9%	29.1	1.0%	96.0%	96.5%
	FCM事業	14.5	0.5%	15.0	0.5%	96.6%	97.1%
	IVDその他	153.0	5.0%	146.5	4.9%	104.4%	102.8%
	IVD事業	2,912.7	95.5%	2,906.9	96.3%	100.2%	100.5%
	LS事業	130.2	4.3%	112.8	3.7%	115.4%	114.4%
	その他	7.7	0.3%	-	-	-	-
	売上高 計	3,050.7	100.0%	3,019.8	100.0%	101.0%	101.3%

品目別	機器	846.7	27.8%	812.0	26.9%	104.3%	104.6%
	試薬	1,703.0	55.8%	1,731.7	57.3%	98.3%	98.5%
	サービス	393.7	12.9%	375.7	12.4%	104.8%	105.4%
	その他	107.1	3.5%	100.1	3.3%	107.0%	106.7%
	売上高 計	3,050.7	100.0%	3,019.8	100.0%	101.0%	101.3%

所在地別実績（売上高・営業利益）



(億円)

		2021年3月期	前年同期	前年同期比	
				円貨	現地通貨
米州	外部売上高	615.0	661.8	92.9%	95.3%
	営業利益	25.1	28.5	87.9%	90.7%
EMEA	外部売上高	828.5	785.9	105.4%	102.8%
	営業利益	100.8	83.4	120.8%	117.3%
中国	外部売上高	837.3	799.6	104.7%	103.5%
	営業利益	50.6	57.2	88.5%	86.9%
AP	外部売上高	243.0	266.8	91.1%	-
	営業利益	21.3	31.1	68.4%	-
日本※	外部売上高	526.7	505.4	104.2%	-
	営業利益	304.3	362.8	83.9%	-

※IDEXX社など含む外部売上高

Lighting the way **with diagnostics**